

長浜市立湖北病院 地域医療連携室だより



地域住民のための病院づくりを推進し、地域包括医療・ケアを実践します。

令和7年9月号 No.25

- へき地医療拠点病院
- 救急告示病院
- 病院群輪番制病院
- 在宅療養支援病院
- 地域包括医療・ケア認定施設
- 臨床研修病院(協力型)

認知症看護認定看護師のご紹介



馬場 直哉
認知症看護認定看護師

近年の医療技術の高度化・高齢化社会の到来により、患者様の状態変化を逃さず捉え、生活状況なども含めてその要因を推定し、起こり得る変化を予測するとともに、必要な対処を医師と相談し、対応することが求められることから、今まで以上に専門的な知識や技術を持った看護師の必要性が高まっています。

「認定看護師」は、特定の分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができ、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的として誕生した資格です。

「個人、家族及び集団に対して、高い臨床推論力と病態判断に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践する（実践）」、「看護実践を通じて看護職に対して指導を行う（指導）」、「看護職等に関してコンサルテーションを行う（相談）」など「認定看護師」には実践・指導・相談の3つの役割があります。

私は、2015年に「認知症看護認定看護師」の資格を取得し、認知症の人やその家族様、また認知症の人に携わる医療・介護・福祉の専門職に向けて、認知症の人の入院生活や地域での暮らしで「その人らしさ」が発揮できるよう、実践・指導・相談を日々行っています。

「認知症」は、雑誌やテレビなどでみる機会が多くなっていますが、一昨年国会審議を経て、昨年1月に「認知症基本法」が施行されました。これにより、国や自治体において今まで以上に「認知症」への取り組みがなされています。

2025年には65歳以上の方の5人に1人は「認知症」と推計されていましたが、昨年5月に厚生労働省からの発表では、2040年の65歳以上の7人に1人は「認知症」と推計が出されました。昨今の健康志向の影響もあり、推計値の大きな増加には至らなかったと考えられています。

アルツハイマー型認知症という名前を聞いた人は多いと思いますが、65歳以上の人で一番多い認知症がアルツハイマー病が原因となる認知症です。

アルツハイマー型認知症の特徴として、はじめに物忘れが見られることが多く、「物忘れ＝認知症」というイメージにつながっているのかもしれませんが、ただ、認知症が進行する中で、生活での支障が多くなり、認知症の人にとっての“困りごと”が増えていきます。この“困りごと”について多職種と一緒に考えることも、認知症看護認定看護師の役割の一つになっています。

また、地域の方への認知症予防講座や、専門職に向けた認知症ケアに関する相談や研修などを通じて、これからも地域の皆様に貢献できるよう、院内外の活動に努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

講座や研修のお問い合わせ

代表（82-3315）から講座・研修の依頼とお伝えください。

担当へお繋ぎいたします。

長浜市立湖北病院 地域包括ケア事業部 地域医療連携室

〒529-0493 滋賀県長浜市木之本町黒田1221 TEL 0749-82-3360(直通) FAX 0749-82-3646(直通)

受付時間 午前8時30分～午後5時00分(水曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く)